

政令指定土壌改良資材

NEW

テンポロン

＝吸水ゲル 1%入り＝

NEW テンポロンは北海道サロベツ原野で産出する草炭を原料として高温・高圧のもと石灰中和処理した、たくさんの腐植酸を含有する政令指定有機質土壌改良資材です。

NEW テンポロンの効果

根張りが良くなります

NEW テンポロンを土壌に施肥しますと、特有の団粒が形成され、通気性・排水性・保水性が向上し、土壌環境が良くなります。

リン酸の肥効増進

NEW テンポロンは土中でリン酸と結合して、鉄やアルミニウムとの結合を減らし、リン酸の不溶化を防ぎます。

耐久性・浸透性

NEW テンポロンは高温高圧の製造過程を経ることで、構造が複雑化し分解されにくくなっており、耐久性が長く、土中深くまで浸透します。

省力化・経済的

NEW テンポロンの腐植は耐久性があるため微生物による分解が少なく、また有効な腐植が濃縮されているため、少量の施用で土壌中の腐植量を効率よく維持していきます。

NEW テンポロンの分析値

(日本肥料検定協会による分析)

比重	0.484	水分	56.73%
窒素全量	0.78%	有機炭素	15.10%
リン酸全量	0.05%	有機物	28.11% (乾物当り64.96%)
加里全量	0.07%	腐植酸	9.76% (乾物当り22.55%)
pH(乾物)	6.3	有機中の腐植酸含有量	34.71%
pH(現物)	6.5	陽イオン交換容量	124meq/100g(乾物)



日東エフシー株式会社



NEW テンポロンの使用方法

作物	使用量		使用方法	
果樹	新植	1～3 kg/本	植穴を掘り、掘り上げた土に混ぜ、植えつける。	
	成園	100～150 kg/10a	樹冠下に全面散布し、浅くすき込む。	
そさい花	苗床	1～3 kg/3.3 m ²	床土に混ぜ合わせる。(ポット育苗の場合 5～10%)	
	本圃	施設	1～2 kg/3.3 m ²	畦面または植穴にまき、軽く混ぜ合わせる。
		露地	100～150 kg/10a	全面に散布し、軽くすき込む。
たばこ	子床	20～40 kg/3.3 m ²	床土によく混ぜる。	
	本圃	100～150 kg/10a	全面に散布し、軽くすき込む。	
水稻	箱育苗	10 kg/10a 分の苗箱	床土によく混ぜる。	
	本田	50～70 kg/10a	耕うん又は代かき時に全面散布する。	
緑化植栽	高木	10～40 kg/本	植穴を掘り、掘り上げた土に混ぜ、植えつける。 (植穴の大きさで量を調節します。)	
	中低木	1～3 kg/本	植穴を掘り、掘り上げた土に混ぜ、植えつける。	
芝	新規造成	2～3 kg/m ²	上層部 15cm 位の深さに混和してすき込む。	
	既成芝地	0.3～0.5 kg/m ²	直接散布し、レーキ又は竹ぼうきで均一にすり込み その後目土用の砂を散布する。	

NEW テンポロンの腐植は、完熟堆肥中の腐植の 20 倍相当量になります。
しかも、使いすぎによる害もありませんので、適宜応用して使用してください。

NEW テンポロンは固まりやしまりを防ぐために、吸水ゲルを添加しております。
従いまして、JAS 認証の有機栽培での使用は適しません。

製造元

 **日東エフシー株式会社**

取扱店